

学校法人 東京聖徳学園

聖徳フラッシュ

第69号

平成25年12月1日

発行

学校法人 東京聖徳学園

〒108-0073 東京都港区三田3-4-28

TEL.03-5476-8811(代)



聖徳学園ホームページ
http://www.seitoku.jp/

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学教職大学院
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 聖徳大学附属女子高等学校
- 聖徳大学附属女子中学校
- 聖徳大学附属女子中学校
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学附属成田幼稚園
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 聖徳学園三田幼稚園
- 聖徳学園八王子中央幼稚園
- 聖徳学園多摩中央幼稚園

SEITOKU FLASH 聖徳フラッシュ

「学園創立八十周年記念式典」挙行 未来へ向けてよりしなやかに、さらなる発展を誓う



川並弘純理事長・学園長による式辞

学校法人東京聖徳学園の創立八十周年記念式典が、十月十九日(土)、聖徳大学川並香順記念講堂において盛大に挙行されました。櫻田義孝文部科学副大臣をはじめとする約千三百名のご臨席を得て、これまでのご厚情への感謝を表すとともに、さらなる発展へ向けて鋭意努力することを誓いました。

はじめに川並知子名誉学園長から式辞があり、八十年前は斬新であった幼児教育を原点とし、今日では十八の機関を有するに至った、学園の歩みを振り返り、「皆さまの支えがあったからこそ」と謝意を述べました。

また、川並弘純理事長・学園長は、「創立者の描いた教育理念を決して忘れず、しかしながら時代に合わせ、妥協することなく前進し続けたい」と語り、「大きな飛躍より、着実に一歩ずつ成果を上げていきたい」と式辞を述べました。

よりしなやかに、未来へ

80th SEITOKU

INDEX

- 学園 1
- 大学院・大学・短大 1・2・3・4
- 幼児教育専門学校 4
- 附属女子中・高 5
- 取手聖徳女子中・高 5・6
- 小学校 6
- 幼稚園 6・7
- インフォメーション 4・6・8

より豊かな未来に向け ISO 認証を更新

聖徳学園は平成15年11月に日本の教育機関では初めて品質管理システムのISO9001および環境管理システムのISO14001、両国際規格の認証を同時取得しました。

その後、高品質でより良い教育を可能にするシステムと地球環境を守る管理システムを継続した結果、平成21年2月に認証を更新しました。国際機関の定めた規格を高いレベルで更新したことにより、聖徳学園は次の高みに向けて新たな活動を展開します。

ISO 9001 (教育の質マネジメントシステム)
ISO 14001 (環境マネジメントシステム)

ご意見・ご感想募集「聖徳フラッシュ」は皆さんの広報紙です。本紙に関するご意見・ご感想を下記サイトにて受け付けております。
http://www.seitoku.jp/gakuen/tolawase/

「その他のご意見・お問い合わせ」まで

聖徳大学看護学部看護学科の設置が認可されました！ 最先端の医療教育設備を配置した環境

平成二十六年四月の開校に向けて申請していた聖徳大学看護学部看護学科(入学定員八十名・収容定員三百二十名)の設置について、十月三十一日(木)、文部科学大臣より認可されました。

また、この新設にあたり、各種施設・実習室を聖徳大



その後、本式典のメインアトラクションとして、聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校の生徒によるミュージカル「秘密の花園」が上演されました。演劇

研究部 箏曲部・吹奏楽部の異色コラボレーションで、音響や照明もすべて生徒が担当し、最後に、同校総勢百三十名で学園歌を三部合唱で歌い上げました。



ミュージカル「秘密の花園 (The Secret Garden)」

祝賀会開催

さらに、聖徳大学体育館に場所を移し、祝賀会が催されました。卒業生のアンサンブルグループ「彩音」「ディヴアレンジャー」「Jソロイスツ」による演奏でお客さまをおもてなしいたしました。

八十年という節目に、学園創立の原点と建学の理念を再確認し、約三時間にわたる記念式典は盛会裏に終了しました。

聖徳学園創立八十周年記念 W.A.モーツァルト作曲「フィガロの結婚」 音楽総合学科教授 山本まり子



観客の拍手に応える出演者たち

その満足度の高い公演でした。学園創立八十周年記念オペラの十月二十六日(土)は、台風二十六号の襲来が予想されていましたが、ハラハラされていたに違いなくお客さまも、最高の時間を過ごされたことでしょう。

前日の公演は、学生にも理解しやすい日本語で上演されたのに対し、この日はモーツァルトの原曲通り全部イタリア語で歌われ、舞台の両脇に置かれた字幕の機械で歌詞の内容が表示されました。

「フィガロの結婚」は、古今のオペラの中でも飛びぬけて有名で、上演頻度の高いオペラだけに、質の高さが常に要求される厳しい条件下にある作品ともいえます。この日の舞台は大変シンプルでわかりやすく、音楽的な水準の高さが際立って聞こえました。題名役の青戸知先生とスザンナの宮部小牧先生、小姓ケルビーノの加賀ひとみ先生は実に適役。機転の利く二人が、思春期特有の心の揺れ動きを抱えた少年に愛情を持って接する様が繊細に描かれました。

ウィーン国立歌劇場で長く専属ソリストを務められた客員教授の甲斐栄次郎先生が伯爵役です。その厚みと奥行きのある声が講堂の隅々まで響き渡り、表現の幅広さには圧倒されました。また、伯爵夫人の島崎智子先生の貫録ある歌唱と演技

聖徳学園創立八十周年記念 書道・絵画作品「香順特別賞」受賞者

学園創立八十周年事業の一つとして、書道作品ならびに絵画作品を学園関係者の皆さまから募集したところ、書道作品千三百九十点、絵画作品百五十五点の応募があり、香順特別賞に左記の二作品が選ばれました。

受賞作品は記念式典において展示されました。



- 絵画作品 香順特別賞
- 氏名/ 釜谷 友梨子さん
 - 所属/ 聖徳大学附属女子高等学校1年
 - 作品名/ 「こころ静かに」
- 書道作品 香順特別賞
- 氏名/ 生田 菜奈美さん
 - 所属/ 聖徳大学附属女子高等学校1年
 - 作品名/ 「臨 雁塔聖教序(大唐三藏聖教序)」
 - 法量(大きさ)/ 縦136cm×横35cm 素材: 紺紙金泥

は、終始安心感を与えてくれました。さらに、指揮の高橋大海先生とオーケストラ、そして客員教授の森島英子先生によるチェンバロの的確な演奏は、モーツァルトらしさをくっきりと印象付けてくれました。

在学生の松本直子さん、高津有里さん、田島萌さんがソリストとして堂々たる姿を披露してくれ、とても頼もしく感じました。忘れてならないのは、両日の公演で二カ国語を歌い分けた、音楽学部の学生他による合唱です。まさに功労賞を差し上げたいと思います。創立八十周年記念にふさわしい名演は、皆さまの記憶に長く留まることでしょう。

平成二十五年 秋の叙勲・褒章受章者

十一月三日付で平成二十五年秋の叙勲・褒章が発令され、本学関係者より下記の先生が受章の栄に浴せ

ました。 職員一同、心よりお祝い申し上げます。



黄綬褒章
業務精励
(中華料理人・卓越技能)
聖徳大学 聖徳大学短期大学部
客員教授 **陳 建一** 先生

聖徳大学陸上競技部 関東大学女子駅伝対校選手権大会で記録更新 16位へ順位上げる

九月二十九日(日)、全日本大学女子駅伝対校選手権の地区予選を兼ねた「第十九回関東大学女子駅伝対校選手権大会(主催/関東学生陸上連盟)が、千葉県印西市の千葉ニュータウン周回コース(六区間、30.6km)において開催されました。



第6区の菅生晶子選手(人間栄養学部1年)

本学陸上競技部は、キャプテン・嶋田美里選手(人文学部三年)を中心に昨年の経験者三名を含んだチーム



選手と応援団で記念撮影

編成で、十六位と健闘しました。全員一丸となり、昨年よりも五つ順位を上げ、ゴールを駆け抜けました。創部三年目で、さらなる活躍を期待させる結果となりました。

聖徳大学オープン・アカデミー(SOA) 学園創立八十周年記念 秋期公開講演を開催

十月五日(土)、聖徳大学オープン・アカデミー主催の学園創立八十周年を記念する行事として秋期公開講演を開催し、約四百五十名の方にお越しいただきました。今回は、ちようど学園創立三十周年に学園歌を作詩

いただいたサトウハチロー氏にスポットを当て、現サトウハチロー記念館館長でご子息の佐藤四郎氏による「父サトウハチロー」詩の世界」と題した講演、第二部ではサトウハチロー氏の作品コンサートを企画しました。



佐藤四郎氏

冒頭の川並弘純学長の挨拶では、学園創立三十周年の際の、学園歌が初めて披露された当時の貴重なお話がありました。講演では、佐

藤四郎氏ご自身のエピソードを皮切りに、父であるハチロー氏の詩を作る姿勢やそれにまつわる思い出話、特になぜ童謡にこだわって詩を書いたのか、なぜ演歌の作詩をしなかったのか、唱歌と童謡の違いについて

平成26年4月 聖徳大学と新東京病院のリレー医療講座 健康な社会づくりのために

平成26年4月に看護学部を新設する聖徳大学と、先進的な医療展開を行っている新東京病院がリレー形式で医療講座を開設します。病気を正しく理解して、より健康な生活をおくることができるようぜひご受講ください。

平成25年 12月14日(土)	医療の未来に向けて	新東京病院院長	中村 淳
平成26年 1月25日(土)	認知症の理解と対応	聖徳大学学長特別補佐 (看護学部設置準備担当)	水戸 美津子
平成26年 2月15日(土)	心臓病について	新東京病院 心臓内科主任部長	中村 勝太郎
平成26年 3月15日(土)	中高年の尿もれ対策	聖徳大学看護学部長 就任予定者	佐藤 和子

要申込み
受講料無料 【定員】180名 【会場】聖徳大学 【時間】13:00~14:30(90分)
お申し込み・お問い合わせ先: 生涯学習課 TEL: 047-365-3601

客席からも笑いがこぼれていました。



ディヴァレンジャーとJソロイストのステージ

第二部の作品コンサートでは、本学卒業生で構成する「Diva Ranger(ディヴァレンジャー)」と、本学シリーズコンサートでもおなじみの「Jソロイスト」の両女声アンサンブルグループの混成チームにて、学園歌を軸に「かわいひなまつり」「ちいさい秋みつけた」などの誰もが知っている歌や「夢淡き東京」などの懐かしい歌があり、また「リングの唄」は来場者の方も一緒に歌っていただきました。サトウハチロー氏の優しい詩と歌姫たちの声に会場は包まれ、その詩の世界を堪能いただけただようでした。

快挙! 聖徳大学バスケットボール部 「関東大学女子リーグ戦」で三部に昇格!



いつもご声援ありがとうございます!

八月三十一日(土)に開幕した「第六十三回関東大学女子バスケットボールリーグ戦(四部)」に出場していた、本学バスケットボール部は、十月二十七日(日)に行われた三・四部入替戦で見事勝利し、三部昇格を決めました。来年度は五年ぶりの三部でのリーグ戦です。予選リーグを六勝一敗で終え、創価大学との順位決定戦を76対60で勝利し、四部三位で入替戦に臨みまし

た。三部22位の東洋大学との入替戦では、前半は相手に6点リードを許しましたが、後半で逆転し、80対65で勝利しました。さらに、須藤由希子さん(児童学科小学校教員養成コース四年)が、「優秀選手賞」に選出されました。

速報 初優勝!!

十一月九日(土)から二十四日(日)まで開催された「千葉県女子学生バスケットボール大会 トーナメント戦」で初優勝しました。



♪聖徳祭でのロビー【談話室】コンサートの様子

◆活動の目的は一つ目に、近い将来、教員の道を進もうとしている彼女たちが、合唱活動を通して、合唱力・指導力・協調性など多くのことを学びながら、学生同士で切磋琢磨し、感性を高めようというものです。そして二つ目に、学年を超えて交流し、みんなの親睦を深めようというものです。

◆演奏発表の機会には、主に年に三回あって、①オープンキャンパスでの音楽教員養成コース紹介コンサート(音楽まつり)(八月)、②聖徳祭でのロビーコンサート(十一月)と二つあります。この二つに、③学内演奏会での発表(二月)となっています。◆活動の中で取り上げられた曲目に、学生が力を合わせて作詞した作品もあります。かけがえのない仲間「あなたに...」という曲はそれぞれ平成二十三年度、二十四年度の卒業生が作詞し、指導にあたっての松井教員が作曲したもので、音楽之友社、教育芸術社から出版され、全国の合唱に携わる者へと発信されています。これからも、音楽教育ここにあり!と叫ぶ活動をしつづけていきます。いけたらと思っています。(音楽学部音楽総合学科 教授/専門分野は音楽教育)

研究室から 第18回 松井 孝夫

音楽教員養成コースによる合唱活動

名付けて「音楽合唱」

平成二十二年度に結成された音楽学部音楽総合学科音楽教員養成コースによる合唱活動(以下、音楽合唱)も四年目を迎え、だいぶ軌道に乗ってきました。一年から四年までの約五十名の学生が、水曜の限りに集まり、地道に活動しています。



♪学内演奏会【香順メディアホール】での発表の様子

聖徳ラーニングデザインセンターだより

なぜ学ぶのかー学びのほんとの目的とはー

皆さんは、「なぜ学ぶのですか」と先輩に尋ねられたら、どのように答えますか。「将来役立つから」「資格取得のため」「教員になりたいから」などと答えるでしょうか。しかし、これはほんとうに正しい応答なのでしょうか。「〇〇になる」「△△の資格をとる」、もちろん、誤りではありません。私たちがこうした皆さんの夢がかなうよう、応援しています。しかし、その先を考えてほしいということなんです。皆さんは、何かの資格を取得したり、何かの仕事に就くわけですか。それは、何のため、誰のためなのでしょうか。資格をとるという事は、手段、ひとつの通過点にしかなりません。その先にこそ、皆さんがほんとうに実現したいことがあるのではないのでしょうか。「教員になり(手段)、表現力豊かな人材を育てたい(目的)」「保育者になり(手段)、子育てする夫婦が安心して働けるように支援したい(目的)」など、いま皆さんが描いている目的や夢の先には、こうしたことがきつとあるのだと思います。

【聖徳ラーニングデザインセンターを利用してよかったこと(学生の声)】

- ・「自分自身の課題が発見でき、やる気が湧いてきた」
- ・「手帳を使って細かく時間管理をしたら、課題など余裕をもって終わらせることができた」
- ・「セミナーを受けて、レポートの書き方のコツが徐々にわかってきた」
- ・「エントリーシートなどを作成するための文章力が身についてきた」
- ・「問題の解き方がわかり、うれしくなった」
- ・「通学時間、空き時間などを活用するコツがわかった」など



聖徳ラーニングデザインセンター(大学1号館1階)の様子

センターでは、皆さんの学びのデザイン、キャリアデザイン、学習法全般に関するアドバイスをしています。

目指せ絶対内定！ 「平成二十五年 夢実現プロジェクト」

後期授業が始まった直後の九月二十六日から、大学三年生・短期大学部一年生の企業系就職希望者約四百人を対象として、「平成二十五年 夢実現プロジェクト」(毎週木曜)が始まりました。

このプロジェクトは、近年企業が正規社員ではなく、非正規社員を雇用する傾向にあり、就職が厳しくなる中で、本学学生が就職内定を勝ち取れるよう支援する活動です。

それには、履歴書やエントリーシートを上手く書くことが求められます。支援活動は、全十回の講座で構成されます。具体的には、まず専門の講師による講義があり、その後、約十人の学生に一人の教職員がファシリテーターとなって、学生を直接指導します。

履歴書欄の「私の特長」「研究課題」「学業以外に力を注いだこと」「趣味・特技」などを具体的に埋めることは困難を伴いますが、学生たちは指導によって徐々に上手く書けるようになっていきます。

このプロジェクトの意義は、



第49回 聖徳祭「スマイル 聖徳 Festa」開催

短期大学部総合文化学科と千葉興業銀行の共催による見本市「千産千商2013 in 聖徳祭」が開催されました。今回は昨年に引き続き、県内外から企業十二社が参加、それぞれ千葉県産の商品の販売に力を入れました。

十一月九日(土)・十日(日)、第四十九回聖徳祭が行われました。当日は恒例の管理栄養士を目指す学生たちによる「キッチンソルト」や「ケーキハウス」をはじめ、各クラスによる授業の研究発表、発表、クラブ・同好会の部員が一丸となって作り上げた華やかな野外ステージ発表など、日ごろの成果の一端を披露しました。学生たちの熱意とテーマに込められた想いが通じ、一万人を超える来場者でキャンパス内がにぎわいました。

また、今回は学友会を中心に、児童虐待防止のシンボルマークであるオレンジリボンを来場者に配布し、虐待のない社会を築くことの大切さを呼びかけました。



児童虐待防止のオレンジリボンブース



「目指せ絶対内定！」を合言葉に教職員が全力で支援しています

就職が一体となって学生の就職を支援することになります。講義の回を重ねるごとに学生の就職に対する意欲は高まっています。

この「千産千商」は、同学科と千葉興業銀行が二〇一〇年に結んだ産学連携協定に基づいて毎年行われているもので、今年で四回目となります。出展企業は、千葉県産農産物や県内で加工・製造している「おいしい食べもの」を展示・販売しました。今年の参加企業は昨年を三社上回りました。

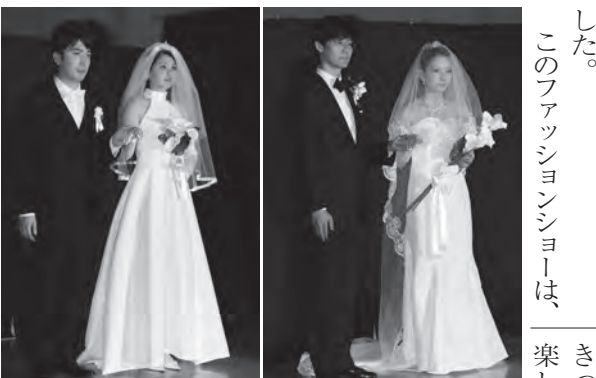


プリン、メロンパンを販売する学生たち

中でも人気になったのは、同学科と八千代市に工場がある興真乳業株式会社が開発した「聖徳ブランド」の新タイププリン「ちばたま」に「ゆうプリン」と、昨年引き続き、総合文化学科が開発した「メロンパン」ときめく「メロンパン」です。両日とも、学生や一般市民が店頭で殺到、いずれも三十分で売り切れとなるほどです。

プリンとメロンパンは、同学科製菓ブランド(佐藤利枝子准教授指導)で開発したもので、原材料はすべて千葉産です。

開発にあたり、た白戸里実さん(二年)は、「自分だったら、こんなプリンが食べたいと思うところから発想しました」と話していました。



古山春香さん(図書館司書プランチ2年) 齊藤真彩さん(ファッションプランチ2年)

また、男性モデルとして、音楽学部演奏学科の北川森央講師と総務課の大杉一郎さんが出演。見事なリード役を果たした北川講師は、「楽しかったですね。今回は(専門の)フルートを演奏しながら語りましようか」と語っていました。

学生制作のウエディングドレスを披露

短期大学部総合文化学科ファッションプランチの学生が、聖徳祭でファッションショーを開催しました。学生たちは、二日間計八ステージ、自ら作ったウエディングドレスを着て出演、観客の熱い視線を受けていました。

このファッションショーは、指導教員の杉本幸子教授の発案で、学生たちは春先から準備、夏休みを返上して課題のドレスを制作しました。当日は、モデルとして他プランチの学生も協力しましたが、その一人、古山春香さんは「緊張して顔が引きつってしまいましたでしたが、楽しかったです」と話していました。

秋本番、笑顔いっぱい香和会 支部パーティー 全国で展開中

聖徳大学・聖徳大学短期大学部の卒業生の会である香和会はこの秋、全国七支部で、聖徳学園八十周年を記念する支部パーティーを展開中です。

九月八日(日)には、甲州・中部・東海支部が山梨県甲府市で、十五日(日)には北海道・東北支部が福島県郡山市で、二十二日(日)には北陸・上信越支部が新潟県長岡市で開催しました。また、十月二十七日(日)には、九州・沖縄支部が那覇市で支部パーティーを川並弘純学長他、先生方を迎え、開催の人数でした。

この「千産千商」は、同学科と千葉興業銀行が二〇一〇年に結んだ産学連携協定に基づいて毎年行われているもので、今年で四回目となります。出展企業は、千葉県産農産物や県内で加工・製造している「おいしい食べもの」を展示・販売しました。今年の参加企業は昨年を三社上回りました。

このファッションショーは、指導教員の杉本幸子教授の発案で、学生たちは春先から準備、夏休みを返上して課題のドレスを制作しました。当日は、モデルとして他プランチの学生も協力しましたが、その一人、古山春香さんは「緊張して顔が引きつってしまいましたでしたが、楽しかったです」と話していました。

また、男性モデルとして、音楽学部演奏学科の北川森央講師と総務課の大杉一郎さんが出演。見事なリード役を果たした北川講師は、「楽しかったですね。今回は(専門の)フルートを演奏しながら語りましようか」と語っていました。



北海道・東北支部パーティー

会となりました。来年は同支部の二十周年です。卒業生の活躍としては、甲府市で採用試験に十数回挑戦し、本年正規採用になった橘田さん(初等教育学科卒業)、那覇では沖繩のラジオ局でフリーアナウンサーとして活躍中の城間さん(英米文化学科卒業)

音楽療法コース 卒業生のための 「秋期音楽療法研修会」開催

聖徳大学SOA音楽研究センター主催「平成二十五年度卒業生のための秋期音楽療法研修会」が十月二十一日(日)、大学で開催されました。



研修会の様子

音楽学部音楽総合学科音楽療法コースは今年三月に十三回目の卒業生を送り出し、コース卒業生総数は約二百九十名になります。今回は平成十五年から今年までの卒業生あわせて十一名の参加がありました。

まず、村井靖児教授から日本音楽療法学会の動向についての話があり、その後、事例研究の方法

と小論文の書き方について郡司正樹准教授の講義が続き、さらに、学会認定音楽療法士の資格を持つ卒業生には更新に必要なことについての説明が古平孝子講師から、これから実技試験を受ける卒業生には試験に向けてのアドバイスが原沢康明教授からそれぞれありました。

昼休みには卒業生の近況報告もあり、終始和やかな雰囲気の中、会は進行しました。

久しぶりに大学に来た卒業生、遠方から参加した卒業生もおり、閉会後もクラスメートや先生方との再会に話が尽きないようでした。

学生の海外研修レポート 北京・西安・上海をめぐる十日間

人文学部日本文化学科・歴史文化コース二年

橋本 佳奈



私たち人文学部日本文化学科は、九月五日(木)から北京・西安・上海をめぐる十日間の研修旅行に行きました。私は、初めての海外旅行で楽しみより不安な気持ちの方が大きかったのですが、友人・先生・コンダクターの方など多くの方のおかげで、とても充実した十日間になりました。

素晴らしい場所が多く、特に印象に残った見学地の二つを紹介します。まず、一つ目は北京で観劇した京劇です。私は演劇が好きなのでとても楽しみにしていました。



上海バンドにて

二つ目は、西安の兵馬俑坑です。教科書やテレビでは何度も見たことがありますが、実際に見てみると兵馬俑はとて大きく迫力があり、顔もそれぞれ異なっていることを確認することができました。

その他には、万里の長城、華清池、魯迅旧居なども見学しました。それぞれの時代の背景に触れることができ、歴史を少し身近に感じることができました。

十日間で、今まで私が知っていた中国の歴史はとても浅いものであったということを実感し、もともと歴史を勉強しなければならぬと思うようになりました。

最後に、中国に行く機会を与えてくれた両親に感謝したいと思います。

かすがの森

信州佐久 春日温泉 自然体感リゾート

長野県佐久市春日 2258-1

一般9,400円~のところ
学生・教職員 5,400円~
卒業生・家族・同伴者 8,300円~
(1泊2食付)

ご予約・お問い合わせは
現地フロント係が承ります。
お気軽にお電話ください!
TEL. 0267-52-2111

詳細はホームページでご確認ください。 <http://www.kasuganomori.com>

今年も聖徳祭に模擬店を出店

11月9日(土)、10日(日)に第49回聖徳祭が開催されました。今年も「かすがの森」から模擬店を出店し、地元の佐久市で生産された飲むヨーグルト、リンゴ、手作りジャム、五郎兵衛米、ハチミツを販売しました。

模擬店を出店するようになり4年目になりますが、毎年楽しみにして来てくださるお客さまも増え、「かすがの森」を知っている方も増えてきました。



500円以上お買い上げの方に「かすがの森ペア宿泊券(特賞)」が当たる福引を実施

幼児教育専門学校

平成二十五年 合同運動会

澄み渡る青空と爽やかな秋晴れの中、芝公園グラウンドにおいて、専門学校と聖徳学園三田幼稚園の合同運動会が九月二十九日(日)に開催されました。学生たちは、学生役員として、競技進行・会場・受付・放送・売店・園児係を担当し、早朝の会場設営から最後の片付けまで、運動会における運営方法を学ぶ実践学習を行いました。

専門学校生としての参加種目は、園児とのフォークダンス、綱引き、マスゲームダンスでした。閉会式の講



また、万歩計を装着して参加した結果、ほとんどの学生が一万五千歩以上活動しており、二万歩を超えた学生もいました。幼児教育者として体力の必要性を実感した一日であったと思います。

最後まで笑顔絶えず、明るく元気な学生たちの姿を見ることができました。この充実した体験が、今後の学習に生かされていきます。

キャンパスで就職活動 第三回学内合同企業就職 説明会in聖徳大学「開催

十月二十五日(金)、「第三回学内合同企業就職説明会in聖徳大学」を開催しました。就職環境が依然厳しい中、採用活動を行っている中堅・中小企業への就職活動を積極的に行っていく上で、企業と学生の出会いの一つでも多く取り持つため、実施しました。

当日はアパレル、冠婚葬祭、教育サービスなど多種多様な業界の企業二十社と、相談ブース(まっつど)新卒応援ハローワーク)の参加があり、大学四年生・短大部二年生が熱心に話を聞いていました。企業からも「ぜひ当社を受験してほしい」とい



熱気が溢れる会場の大学1号館メディアラウンジ

学生もいました。キャリア支援室は、スタッフ八名とキャリアカウンセラー一名で個別就職支援を強化しています。

十一月三日(日)祝、聖徳学園三田幼稚園と合同の「聖徳にこにこまつり」が開催されました。天候に恵まれ、園児や保護者、専門学校生、卒園児、卒業生が来場し、創立八十周年にふさわしく大盛況でした。

三田幼稚園では、おいしいそうな香り漂う模擬店や、品揃え豊富なバザー、行列のできるおぼけ屋敷など、どこを見ても温かい雰囲気



子どもの笑顔がいっぱい

笑顔あふれる学び 「聖徳にこにこまつり」

をする園児、ボールが命中して笑顔がこぼれる園児、玉入れに成功して拍手をもらう園児など、さまざまな姿が見られました。学生たちも、園児たちとの関わりを楽しみ、自分たちもお店を巡り、もてなす喜びも、もてなされる喜びの、両方を

感じながら学んでいます。お別れの音楽が流れ、名残惜しうに振り返りながら帰る園児たちと、どこか寂しい気持ちを抱えて片付け始める学生たちが印象的でした。楽しい時間はあっという間に過ぎ去りますが、年に一度の夢のような時間だからこそ、「にこにこまつり」は記憶にいつまでも鮮明に残り続けます。

附属女子中学校・高等学校

第三十二回 聖徳祭を終えて

学園創立八十周年記念・本校創立三十周年記念「第三十一回聖徳祭」が九月二十八日(土)、二十九日(日)に行われました。三十周年記念式典などを通して学校の歴史をより深く知る機会となりました。

テーマは、先輩の築いた伝統を引き継ぎ、今度は新たな歴史を作り上げるという再出発の意味を込めて、文化委員会が提案した『元々START』と決まりました。

テーマに沿って数々の企画があり、夏休み前から各団体の準備を進めてきました。生徒の取り組みも素晴らしく、上級生を中心とした委員会・部活動の発表では「さすが」という声がかかるほど素晴らしいもの

となりました。初日は、中学生英語劇コンテストと普通科音楽コンクールが行われ、在校生、保護者に公開し、二日目は一般公開をしました。聖徳祭最後を飾る六学年企画のグラウンドフィナーレでは、全校生徒が「30」の人文字を作り、印象深いものとなりました。生徒個人の力はもちろんのこと、聖徳祭運営にあたり聖徳祭実行委員の生徒、後援会評議委員とボランティアの保護者の皆さま、さらに生徒と共に展示会場作成・準備に携わった教職員などすべての力が結集した成果です。

三十年間の歴史と伝統を心に刻み、本校は新たな未来に向け、『RESTART』していきたいと思えます。



全校生徒による「30」の人文字

第三十二回 体育祭を終えて

十月十二日(土)、聖徳学園創立八十周年・本校創立三十周年記念「第三十一回体育祭」が快晴のもと盛大に行われました。開催前は



玉いれの攻防戦
心配をするほど
の好天に恵まれました。競技は、選手種目の百メートル競争を皮切りに各学年種目も順調に進み、

体育祭当日は十月も半ばにさしかかっているにもかかわらず、気温が三十度を超えるなど、雨どころか熱中症の心配をするほどの好天に恵まれました。競技は、選手種目の百メートル競争を皮切りに各学年種目も順調に進みます。

生徒の赤・青の応援にも力がこもっていました。

今回は各種目のポイントを生徒に伝えて競技を行い、より各色の学年を超えた協力を促しました。その結果、午後の中ごろまでは追いつ追われつの大接戦となり、各学年とも大変白熱した戦いを見ることができました。最終結果は赤組が総合優勝、応援合戦優勝と二冠に輝きました。

多くの保護者、そして来賓の皆さまに見守られながらの体育祭も無事成功裏に終了することができました。また、来年の開催に向けて体育科一同準備を進めてまいります。

附属女子中高同窓会

爽和会からのお知らせ
教諭 石塚 理恵子

「サンキャッチャー講習会」

12月開催

昨年から始めた爽和会文化活動第二弾「カラーdeサンキャッチャー講習会」を十二月七日(土)に附属女子高等学校で行います。

太陽の光は、空気中の水滴によって屈折・反射される時に水滴がプリズムの役割をするため、光が分解されて色の帯に見えます。これをクリスタルガラスで作ります。

「サンキャッチャー」です。

当日は、クリスタルパーツでバックチャームを作る予定です。講師は、一期生の高島麻衣子さんです。

この文化活動はお嬢さまを附属女子中学校・高等学校に入学させているお母さまが対象です。昨年も大変好評で、今回も期待の声があがっています。

「聖徳成人式」

平成26年1月開催

平成二十六年一月十三日(月・祝)、成人の日には、「第五回聖徳成人式」が開催されます。卒業生の間でもすつかり定着した行事となり、毎年三月発行の爽和会会報の表紙を成人式の写真で飾っています。

昨年度は悪天候にもかかわらず五十八名が集まりました。今年度は天候に恵まれること、また大勢の卒業生が集うことを期待しています。



昨年の第4回聖徳成人式(大学10号館にて)

取手聖徳女子中学校・高等学校

「第三十三回牛乳・乳製品利用料理コンクール茨城県大会」で優秀賞

十月十一日(金)に中川学園調理技術専門学校にて、「第三十三回牛乳・乳製品利用料理コンクール茨城県大会(実技審査)」が開催されました。

このコンクールは、事前に書類審査があり、本校では高校生に夏休みの課題としてレシピの考案をさせています。書類審査の結果、普通科進学コース二年の飯塚望月さんの「牛乳入り長芋もちin枝豆」が、書類審査上位十名に選ばれ、実技審査に臨みました。本コンク

ールへの出場は、三年連続四回目となります。

中間審査期間ということもあり、制約があるなかでの練習となりました。

このコンクールは、事前には書類審査があり、本校では高校生に夏休みの課題としてレシピの考案をさせています。書類審査の結果、普通科進学コース二年の飯塚望月さんの「牛乳入り長芋もちin枝豆」が、書類審査上位十名に選ばれ、実技審査に臨みました。本コンク



賞状を手にする飯塚望月さん

では、①普及性料理のしやすさ、アレンジ、キッチン道具、材料の入手、②獨創性(アイディアの斬新さ)、③味覚(美味しさ)、④利便性(牛乳・乳製品の使用)、⑤総合(全体的評価)の五項目で審査されます。当日は、慣れない環境にもかかわらず、最後まで作り上げ、見事「優良賞」を受賞しました。

図書委員会が古本市で「ボランティア・スピリット賞」受賞

九月二十一日(土)・二十二日(日)に開催した聖徳祭で、図書委員会は、「第二回



図書委員会の生徒による記念撮影

「聖徳古本市」の活動で、中高生のボランティア活動などの社会奉仕活動を支援する「平成二十

五年年度第十七回ボランティア・スピリット賞(主催:プルデンシャル生命保険、ジブラルタ生命保険、日本教育新聞社他、後援:文部科学省、日本赤十字社)にエントリーしました。同賞選考委員会の厳正なる審査の結果、「関東第二ブロックコミュニティ賞」を受賞しました。

なお、十一月九日(土)、水戸プラザホテルでの表彰式には、小川裕子委員長(高三)が図書委員会を代表して列席しました。

また、中高生図書委員全四十四名が、「第八十七回あしなが学生募金(平成二十五年秋・秋季)の街頭募金・ボランティア活動」に参加したことによる資格を、あしなが学生募金事務局との協議により授与されるなど、日々活躍しています。

特別展覧会 聖徳学園創立80周年記念「聖徳学園所蔵 名品」展

名品展では、①〔藤田嗣治(レオナルド・フジタ)コレクション〕、②〔近世の絵巻コレクション〕、③〔人間国宝の陶磁器コレクション〕、④〔自筆楽譜・書簡コレクション〕の4部から成ります。①は「優美神」など子どもや女性を題材とした作品5点、②は「竹取物語絵巻」など江戸時代の大名家によって制作された美しい絵巻4点、③は今泉今右衛門、金城次郎ら人間国宝による陶磁器4点、④はワーグナー、シューベルトらの自筆の楽譜や書簡4点を展示しています。いずれも珍しく貴重なものばかりです。

会期：開催中～平成25年12月21日(土)
 時間：午前9時～午後5時(休館/毎日曜・祝日と学事日程による休業日)
 会場：聖徳大学1号館8階 聖徳博物館
 会場への案内：JR常磐線・新京成線「松戸駅」下車、東口徒歩5分

藤田嗣治(レオナルド・フジタ)コレクション



優美神 127.5×191.0cm 1946-1948年 油彩

特別展覧会 聖徳学園創立80周年記念「ちりめん本 長谷川武次郎コレクション」展

ちりめん本は明治期を中心に、ちりめんのように皺を寄せた、クレープペーパーに英語やドイツ語で印刷し、多色刷りの挿絵を入れたもので、子ども向けの昔話などを題材とした小型の本です。主に輸出用に作られ、貴重な本です。

会期：開催中～平成25年12月21日(土)
 時間：午前9時～午後5時(休館/毎日曜・祝日と学事日程による休業日)
 会場：聖徳大学8号館1階ギャラリー



日本昔噺シリーズ

お問い合わせ：聖徳大学川並弘昭記念図書館 Tel: 047-365-1111 (大代) ※車でのご来学はご遠慮ください。

取手聖徳女子中高同窓会

『聖朋会』活動報告

ジャガバタ―大人気!



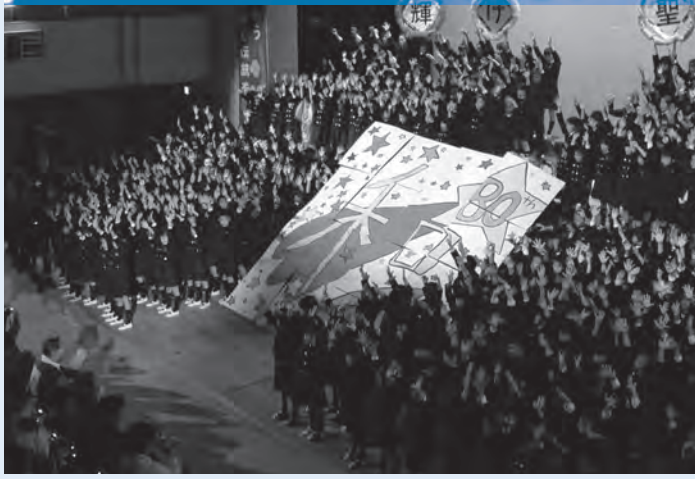
正門のアーチ

九月二十二日(日)、まだ残暑が残る晴天の中、「第三十一回聖徳祭」が行われました。今年も聖朋会は、卒業生有志が集まり、生徒玄關前にてジャガバタ―を販売しました。おかげさまで用意した百五十個のジャガイモは、十三時には完売となりました。

平成七年から毎年参加している聖徳祭模擬店も、今回で十九回目です。卒業生のお子様のお手伝いも年々増えてきました。毎年楽しみに来てくださる方が増えています。

附属小学校

～児童たちの頑張りが一体となって～ 第28回 聖徳祭



全校ページェント「輝け聖徳」

今年の十月は、例年になく多くの台風が発生し、本校の聖徳祭は予定を変更せざるを得なくなり、一日目を二十七日(日)、二日目を二十八日(月)と、一日後にして実施しました。

例年は二日目が一般公開日となるのですが、今回はいきなり一日目が一般公開日です。しかも前日は臨時休校となり、不安の中で初日を迎えました。しかし、元気いっぱい

かわいらしく演技できた一年生、立派な態度と大きな声で堂々と演じた二年生、心を合わせて群読劇に挑戦した三年生、自分たちで考えたセリフで演じた四年生、伴奏音楽も自分たちで演奏した四年生、声がかれるほど叫びながら豪快に和太鼓を叩く五年生、難曲「白鳥の湖」を見事にこなした六年生と、児童たちはやり遂げました。

それらが一体となった全校ページェント「輝け聖徳」では、パワー溢れる低学年の歌声と、響きのある美しい声の高学年の歌声が合わさり、素晴らしい発表ができました。

普段の学習の成果が見事に表れた今回の聖徳祭は、舞台発表だけでなく、各教科やクラブ活動の展示物からも頑張りが伝わってきました。この経験を、児童たちはさらなる学びを深めていきます。

農園活動

五月に植えたサツマイモの苗が育ち、いよいよ収穫の時を迎えました。十一月六日(水)の明和班活動(異学年による縦割り班の活動)は、晴天に恵まれました。

「どんなサツマイモがとれるかな?」と、心ウキウキで農園に向かい、皆で一所懸命サツマイモ掘りにいそしみました。なかなか掘り出せないサツマイモと格闘すること数分、あちこちから大きな歓声が聞こえてきました。



先生、見て見て、大きいお芋!

収穫後は、学年ごとでさまざまに楽しみ方をしました。自宅に持ち帰って料理をしたり、お芋パーティーをしたり、秋の恵みを存分に堪能いたしました。

大きなサツマイモが獲れたよ!

明らかに例年よりもサイズの大きいサツマイモが掘り出されました。かごに入りきれないため、手で持って学校に持ち帰らなければいけないほどの大収穫でした。これも児童たちはもちろんのこと、夏休み中に草取りにご協力くださった保護者の皆さまのおかげです。また、栽培のアドバイザーや農園準備で多大なご協力をいただいた、職員の古畑久雄さまにも御礼申し上げます。



先生と一緒に杵を持ちます

当日は職員だけでなく、幹事のお母さまにも、ついたもちを返したり、もちを丸めたり、お手伝いをしたいという声も聞かれました。園庭では、園児がもちを杵でつく音や迫力に驚いたり、つく動きに合わせて「よいしょ、よいしょ」と掛け声を掛けたり、杵を持つ真似をしたり、おいしいもちが

出来上がるように歌ったりと、楽しみながら見学しています。

また、もちになる前のもち米をいただき、甘みを味わい、お手伝いのお母さまがおもちを丸めて味付けをしている所を見学します。

出来上がったおもちを見て、「おいしそう!」早く食べたいね」と友達と話しています。園児が臼や杵に触れる時間も、「重いね」「白も大きいね」と驚きの感想が聞かれます。

給食では、つきたてのおもちを「よく噛んで食べようね!」と喜んで食べます。昔からある用具を使っているだけでなく、お正月に鏡餅を供えるお話も聞くことで伝統ある行事を大切にしています。

幼稚園短信

聖徳学園三田幼稚園

ジャビットくんといふれあいタイム 読売巨人軍 マスクットともいふ

聖徳学園三田幼稚園創立八十周年記念の一環として十月二十四日(木)、読売巨人軍のマスクット「ジャビットくん」が三田幼稚園に来園し、野球教室が行われました。

園児たちにとってジャビットくんは、あまりなじみがなかったようですが、事前に巨人軍の話をしたり、ジャビットのパペットを置いておいたことで、「これ知ってる!」見たことあるよ!」テレビで見た!」と当日を楽しみにしていました。

当日は、あいにくの雨で室内での活動となりましたが、本物のジャビットくんに大興奮の園児たちでした。一緒に準備体操を兼ねてラジオ体操をしたり、ティーパティンクをしたりと普段経験のできないことを教えていただきました。大人にとっては難しい、棒の上ののっているボールを打つことも、園



力強いフォームでネットにボールを投げる園児たち

児たちは失敗も少なく真剣な表情で打っていました。最後には、皆で集合写真を撮り、園児たちにとっても楽しい一日となり、八十周年記念の行事として大成功でした。

聖徳学園多摩中央幼稚園 成長の見られる 保育参観

保育参観では、年少組・年中組は、触れ合いあそび、新聞紙・タオルを使ったあ



親子で元気に遊びます

そび、サーキットあそびなど親子で関わって遊ぶ内容をとり入れます。さらに、三学期になると、お部屋さんごっこ、劇あそび、楽器あそびなど友達と一緒に楽しむ楽しさを味わったり、

みんなで行う楽しさを感じられるようになった姿を見ていただきます。

年長組になると、集団あそび、言葉あそび、数あそび、じゃんけんあそびを行います。三学期には、お話し、ゲーム作り、発表会など、友達と協力して自分たちで活動を進めていく取り組みが多く取り入れられています。

年三回行われている保育参観は、園児たちの他園児との関わりや集団で生活している様子、成長の様子など、その時期ごとの園児たちの姿を保護者の方々に目の前で見ていただけるよい行事となっています。園児たちにとっても、幼稚園で保護者と一緒に関われる行事の一つなので、とても楽しみにしています。

聖徳大学附属第二幼稚園 サツマイモが、 たくさん！

十月七日(月)、年中組・年少組・満三歳児パンダ組が、聖徳子ども農園にサツ

マイモ掘りに行きました。心配していた天気にも恵まれ、農園に着くと、「大きくなーれって魔法かけたから、絶対大きいお芋が掘れるよ!」「楽しみだね!」と大きな期待感が伝わってきました。

「いっぱいつながっている!」「赤ちゃん芋もあるよ!」「先生、見て!見て!こんなに大きい掘れたよ!」と、四方八方から園児の歓声や驚きの声が飛び交い、みんな目を輝かせていました。採れたサツマイモの大きさや数を自慢



たくさんお芋が出てきたよ

「サツマイモの苗は葉が出る根元が土の中に埋まるように植えること」や、「葉っぱや花の形、色」「つるが伸びること」「根っこが太ってサツマイモになること」など、事前に図鑑を通して知らせていました。

実際に自分の目で見て、触れて確かめることで、サツマイモに関するいろいろな知識が一層深まり、その成長過程を知る上で、園児たちにとって貴重な体験になりました。

聖徳大学附属浦安幼稚園 歌唱指導「みんなで 歌うの楽しいね!」

十月二十四日(木)、今年度二回目の歌唱指導では、

聖徳大学児童学科教授の柳澤邦子先生からご指導をいただきました。各学期ごとに一回ずつ、行事前に全園児がご指導をいただいております。

今回は十一月の聖徳祭に向けての歌唱指導です。聖徳祭では、附属四園の園児と一緒に「園歌」「いぬのおまわりさん」「小さな世界」の三曲を歌いますので、園児も気持ち盛り上がり、張り切って歌っていました。

柳澤先生から歌う時の姿勢や口のあけ方、歌詞をはっきり発音して歌うことなど細かく指導を受けました。園児たちは、先生の言われた口のあけ方を一所懸命行いながら友達同士顔を見合わせ、「こうすればもっと大きな声が出るんだね」「きれいな声で歌えるね」などと口々に感じだすように感じました。

組は「あおい空にえをかこう」の歌のご指導をいただき、園児たちもお互い他学年の歌を聞くことでより良い刺激となり、一層元気に楽しそうに歌っていました。

教員も伴奏の仕方、リズムの取り方など、その都度専門的なご指導を受け、改めて歌の指導の大切さ、伴奏の重要性を理解し、ピアノの練習に励まなくてはならないと心を新たにしました。

一時間半余りの歌唱指導もあっという間に過ぎ、最後に柳澤先生と一緒に園児が楽しみにしている手遊びを皆で元気に楽しく行い、歌唱指導が終了しました。

聖徳大学附属幼稚園 「みのりちゃん」着 ぐるみお披露目式

九月二十六日(木)、松戸市役所で「みのりちゃん」の着ぐるみお披露目式が行われ、年長組の徒歩通園児約三十名が参加しました。みのりちゃんは、松戸市産農産物の普及を図るためのシンボルマークで、「松戸」のアルファベット表記の頭文字「M」をモチーフとし、体は松戸名産の梨やネギをイメージした作りとなっています。市内で生産された減農薬、生産履歴管理の基準を満たした安全・安心な農産物をより多くの消費者に広める目的で作られました。式典では、本郷谷市長から「松戸にはおいしくて安全な野菜や果物があるから

たくさん食べてください」とお話があると、園児たちは元気に返事をしました。その後、みのりちゃんが登場すると「かわいー!」「早く触りたいな」と喜んでいました。司会者からみのりちゃんへの質問を聞かれ、「身長は何センチ?」「どうしてそんなに大きいのか?」「と聞くと、



【みのりちゃん】平成16年2月20日生まれの9歳の男の子で、明るく元気で食べ物の好き嫌いが無い子どもが大好き

「身長は二メートルです!」松戸で採れた新鮮なお野菜をたくさん食べたのでこんなに大きくなったよ!と教えてもらい、「すごい!」「大きすぎる!」と驚いていました。

聖徳大学附属成田幼稚園 運動会 がんばったよ!

九月二十二日(日)、本園隣の郷部児童公園で、秋季大運動会が行われました。三歳児にとっては、初めての運動会。たくさんのお客さまに少し緊張する姿も見られましたが、「ひよっこりひよったん島」の遊戯では、「ひよっこりひよったん島」と繰り返されるフレーズを歌いながら、小さな身体をおもいきり動かして踊ることができました。

四歳児は、大玉ころがしや玉入れをクラスの友達と協力して最後まで頑張りました。五歳児のちびっこアドベンチャーでは、前転をしたり、跳び箱を跳んだりしました。カラフルな長いリボンのついたメイ

ポールを使ったマスケームでは、友達とタイミングを合わせてリボンを編み込んでいき、さすが年長組という姿を見せました。その他に保護者や未就園児・卒園生・祖父母の競技も行い、皆で楽しい時間を過ごしました。教員にとっても改めて園児一人ひとりの成長を感じられる思い出深い一日となりました。

保護者の方には、親子フォークダンスの練習の際にグラウンド整備のご協力をいただき、数名のお父さまには当日の朝早くから競具運びをお手伝いしていただきました。多くの方の協力のもと楽しく運動会を終えることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

全園児の指導の後には各学年ごとに、桜組は「大きな木」の木の、梅組は「ぼくのミックスジュース」、松



柳澤先生と一緒に元気に歌いました

